

令和5年度 事業報告

1. 事業概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、我慢を強いられた時期から解放され、コロナ禍前の日常を取り戻しつつある中、これまで継続実施してきた地域貢献活動としての「済生会境港総合病院での除草ボランティア作業」やコロナ禍では制約を受け出来なかったイベントに出向いての普及啓発活動などに鋭意取り組んだ。

一方で、燃料価格の高止まりをはじめとする物価高騰による影響が長期化し、日増しにその負担感が増大し、地域経済や市民生活にも大きな影響を及ぼした。このような厳しい状況下でシルバー事業の運営もその影響を受けた。

全国のシルバー人材センター（以下「センター」という。）の総会員数は、コロナ禍以後、減少し、今なお下げ止まっていない。当センターも同様の傾向が続いている。これは、年金支給開始年齢の段階的引き上げに伴う定年延長や再雇用制度の影響もあるが、少子高齢化による生産年齢人口の減少に起因する労働力不足の影響もあり、60歳代の会員の確保には苦戦している。会員数は、これまでの過去最低であった前年度の会員数をさらに下回り155人となった。

請負の契約実績については、年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響の収まりとともに前年度を上回る契約金額を記録したが、年末あたりから受注が急激に落ち込みはじめる年度末まで低調な状況が続いた。コロナ禍明けによる受注の回復を期待したが、長引く物価高騰や冬場の天候不順などの影響で実績は、公益社団法人化（以下「法人化」という。）以後としては最も低額な契約額となった。最終的に受注件数は前年度より8.0%減の1,684件、契約金額は3.2%減の約5,617万円となった。

一方、派遣事業については、年度当初から確実に実績を伸ばし、11月には前年度の累計実績を上回り、最終的に契約金額は法人化以後の最高額を記録した。これは令和4年の年末に契約を締結した事業所の需要が1年を通して安定し、実績を大きく押し上げたことが主要因となっている。コロナ禍明けということも手伝って1事業所あたりの実績は堅調であったものの、受注件数としては前年度より20.0%減の12件にとどまったが、契約金額は前年度より70.5%増の約887万円であった。

その他にも、当センターのサービス内容の改善や今後の事業運営に反映するために、利用者に対して、3年ぶりにアンケート調査を実施した。会員の対応については「良かった」が82%、作業内容については「満足している」が80%と前回並み以上の高評価であった。しかしながら、作業内容については一部不満の回答・意見があり、その内容については会報で全会員に周知するとともに、会員との意見交換会の場でも改善・注意事項について指導を行った。また、鳥取県の最低賃金引き上げに伴い配分金額との乖離が大きくなったものもあることから、令和6年度以降の配分金額の一部と襖・障子・網戸の張替えの際の配送料等を引き上げるよう決定した。その他、令和5年10月からスタートした消費税の適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度にも適正に対応した。

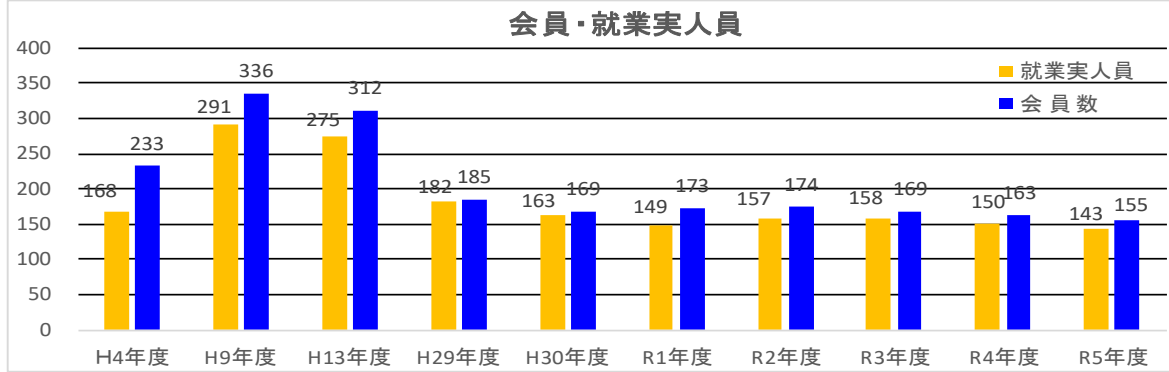
以下、令和5年度の事業実施状況を項目ごとに報告する。

2. 事業実施状況

(1) 事業実績の推移

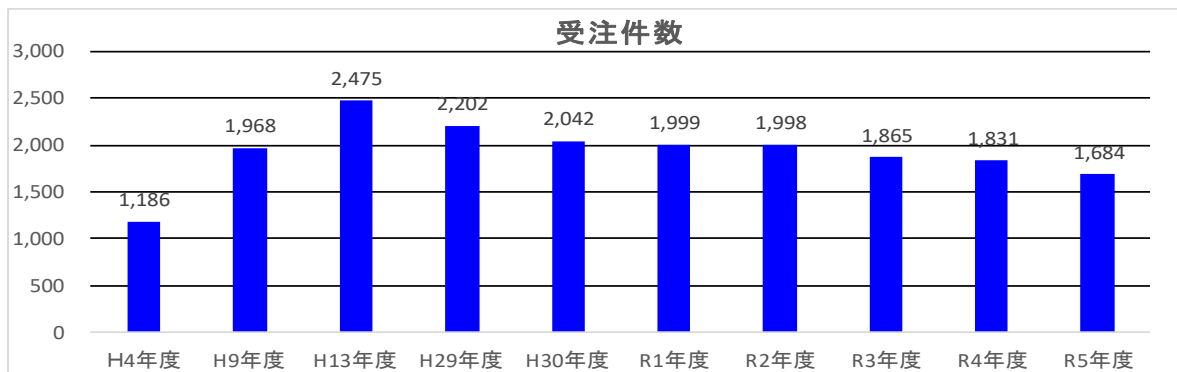
(単位：人)

	H4年度	H9年度	H13年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	233	336	312	185	169	173	174	169	163	155
就業実人員	168	291	275	182	163	149	157	158	150	143



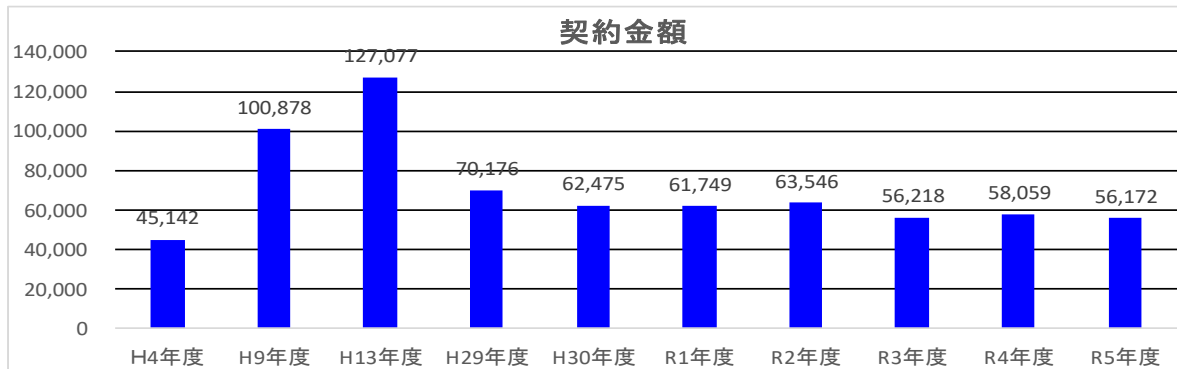
(単位：件)

	H4年度	H9年度	H13年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受注件数	1,186	1,968	2,475	2,202	2,042	1,999	1,998	1,865	1,831	1,684



(単位：千円)

	H4年度	H9年度	H13年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
契約金額	45,142	100,878	127,077	70,176	62,475	61,749	63,546	56,218	58,059	56,172



(2) 会員数の拡大

鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだほか、全会員に会員勧誘のチラシを配付し会員の拡大に努めた。

また、地域貢献活動として取り組んでいる除草、清掃ボランティアの際、他団体と連携して取り組んだことから、その団体の会員に当センターへの会員募集チラシを配付し勧誘を行うとともに、コロナ禍で取り組めなかったイベント会場へ出向いての普及啓発活動を4年ぶりに実施した。

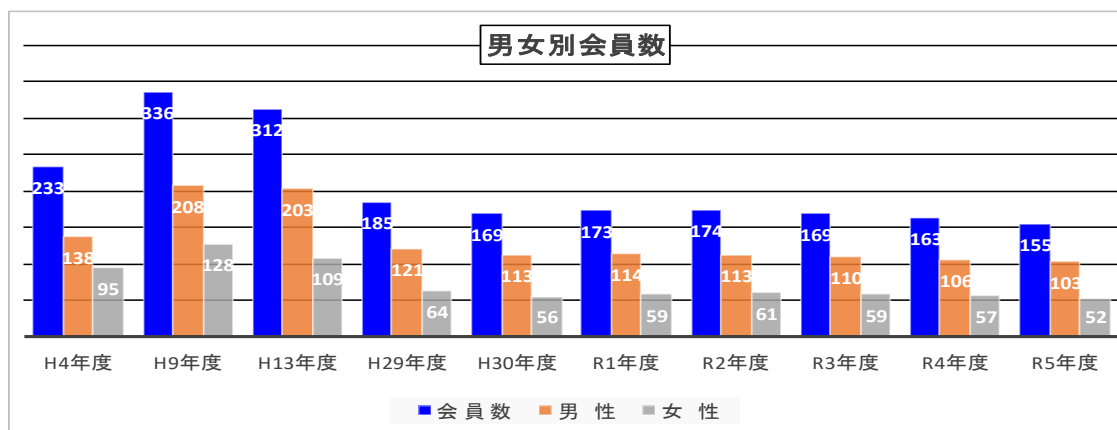
【主な取り組み】

- 公民館、市民図書館及び市民交流センターにチラシを配架（4月）
- 老人福祉センター及び鳥取県立ハローワークにチラシを配架（4月）
- 県政だよりへの広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、8月、1月、4月）
- 草刈・剪定技能講習＜連合会と共同事業＞（5月、6月）
- 商工会議所ニュースへの広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、9月、1月）
- テレビCM放送＜連合会と共同事業＞（6月～2月）
- 介護補助講習、手作りかご編み教室＜連合会と共同事業＞（10月、1月）
- 境港市ことぶきクラブ会員にチラシを配布（10月）
- スマホ教室（10月～2月）
- 浜の里まつりにてチラシ等を配布（11月）
- 新聞各紙にチラシの折り込み＜連合会と共同事業＞（1月～3月）
- 網戸・障子・襖の張替え講習会の実施（2月）
- 市報に会員募集の記事とチラシの折り込み（2月、3月）

＜会員数の推移＞

（単位：人）

	H4年度	H9年度	H13年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	233	336	312	185	169	173	174	169	163	155
男性	138	208	203	121	113	114	113	110	106	103
女性	95	128	109	64	56	59	61	59	57	52



(3) 就業機会の拡大

就業機会開拓のため、市報へのチラシの折込及び官公署などへのチラシ配架により周知と紹介に努め、また官公庁や事業所などを訪問し、就業機会の継続・拡大を要望した。また、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携し、テレビCM、新聞折込み及び商工会議所ニュースなどにシルバー人材センターを紹介する広告等を掲載した。

(主な新規事業)

- 食器洗浄、清掃作業

【主な取り組み】

- 公民館、市民図書館及び市民交流センターにチラシを配架（4月）
- 老人福祉センター及び鳥取県立ハローワークにチラシを配架（4月）
- 県政だよりへの広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、8月、1月、4月）
- 商工会議所ニュースへの広告掲載＜連合会と共同事業＞（5月、9月、1月）
- テレビCM放映＜連合会と共同事業＞（6月～2月）
- アンケート調査の実施（8月）
- 境港市ことぶきクラブ会員にチラシを配布（10月）
- 官公庁訪問（11月）
- 浜の里まつりにてチラシ等を配布（11月）
- 新聞各紙にチラシの折り込み＜連合会と共同事業＞（1月～3月）
- 市報にチラシの折り込み（3月）

(4) 安全・適正就業の徹底

会員の安全就業について、熱中症対策や感染症予防対策は、配分金明細書への一口メモを通じ、また事務所に注意喚起を促す情報の掲示などこれまでの取り組みを継続実施して注意喚起を行った。

刈払機による飛石事故対策として、市の業務で通過交通の激しい作業箇所などでの就業を一部見直すなどしたため、飛石事故は発生しなかったが賠償案件は1件発生した。

飲酒運転根絶のためのアルコール検知器によるチェックの再開と目視による確認を徹底した。

【主な取り組み】

- 市業務の通過交通の多い道路等の除草作業箇所の一部見直し（4月）
- 熱中症警戒情報を事務所玄関、窓口に掲示して注意喚起（6月～9月）
- 熱中症予防としての注意喚起の一口メモ（7月、8月）
- 安全・適正就業推進委員会の開催（7月）
- 安全・適正就業推進委員長、理事長、事務局職員及び連合会の安全・適正就業指導員による安全パトロール（7月、11月）
- 新型コロナウイルス等感染症予防の注意喚起の一口メモ（10月～1月）

- 安全就業講習会<連合会と共同事業>(11月)
- 飲酒運転根絶のためのアルコール検知器によるチェックの再開(11月)
- 会員との意見交換会の場で、安全・適正就業推進委員長から安全就業についての留意点の説明(2月)
- 貨物軽自動車運送事業の届出(3月)
- 飲酒運転根絶のための目視による確認(通年)

<傷害事故発生状況>

業種	発生日	内 容	保険適用
剪定	R 5. 5.31	剪定後、枝を収集した際にムカデに刺された。	適用・有
芝刈	R 5. 6. 7	自転車で就業先に向かう途中、わき道から出てきた軽乗用車と出会い頭に接触した。腰椎のずれ	適用・無 (相手方の自動車保険適用)
除草	R 5. 6.27	午前の作業終了後、吐き気で顔面が蒼白となり、救急車で病院搬送、熱中症	適用・有

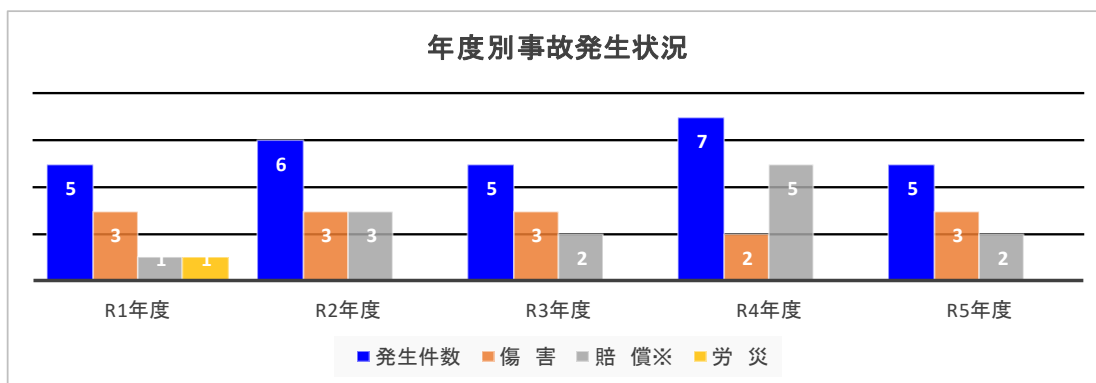
<賠償事故の発生状況>

業種	事故発生日	状 況	保険適用
刈払	R 5. 6. 9	作業中、誤って他人の敷地に侵入し、観賞用の植物を伐採してしまった。	適用・有
乗用芝刈	R 5. 6.13	乗用芝刈機の給油口の蓋の締め付けがゆるく蓋が落下。そこを乗用芝刈機で通過し、蓋を破損させた。	適用・無

<年度別事故件数の推移>

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
発生件数	5	6	5	7	5
傷 害	3	3	3	2	3
賠 償※	1	3	2	5	2
労 災	1				

※R3年度までは、保険適用分で連合への報告分のみを計上



(5) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立

燃料価格の高止まりや物流コスト・原材料価格の高騰などの影響による受注の減少や運営コストの増加を考慮し、事務経費の節減に努める一方、増加し続ける経常経費の財源を確保するため事務費率を改定し増収に取り組んだ。また、配分金検討委員会を開催し、配分金の一部と障子・襖等の配送料を改定し次年度以降の受取事務費等の増収を図った。

【主な取り組み】

- 事務費率の改定による受取事務費の増収（4月）
- 総会議案集の自前製本（5月）
- 配分金の一部と障子・襖等の配送料を改定し次年度以降の受取事務費等の増収を企図（12月）
- 事務経費等の節減（通年）

(6) 地域貢献活動

受診、検診、あるいは新型コロナワクチン接種など、常日頃からお世話になっている済生会境港総合病院に感謝の意を込めて除草・清掃作業によるボランティア活動を令和4年度に引き続き境港市ことぶきクラブと合同で行った。

【主な取り組み】

- 済生会境港総合病院での除草・清掃作業（10月）